

北九州都市計画道路の変更（北九州市決定）

都市計画道路中3・3・22号吉志井ノ浦線を3・3・22号吉志2号線、3・3・23号沼井ノ浦線を3・3・23号沼吉田線に名称を改め、3・1・4号6号線ほか5路線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・1・4	6号線	門司区東本町一丁目	小倉南区大字朽網	門司区吉志一丁目	約23,310m		4車線	25m		
	構造形式の内訳		門司区大字田野浦	門司区大字白野江		約530m	地下式		16m	J R 西日本山陽新幹線と立体交差 自動車専用道路と立体交差3箇所 幹線街路と平面交差16箇所	
			門司区大字大積	門司区大字喜多久		約480m	地下式		22m		
			門司区大字柄杓田	門司区大字伊川		約680m	地下式		22m		
			小倉南区大字吉田	小倉南区大字曾根		約520m	嵩上式		23m		
						約21,100m	地表式		16m～46m		
	3・1・5	8号線	小倉北区浅野一丁目	小倉南区大字朽網	小倉北区片野三丁目	約13,930m		6車線	40m		
	車線の内訳		4車線			約3,910m					
			6車線			約10,020m					
	構造形式の内訳		小倉北区片野五丁目	小倉南区富士見二丁目	小倉南区富士見三丁目	約670m	堀割式		35m		
					約13,260m	地表式		40m	J R 九州日豊本線と立体交差2箇所 J R 九州日田彦線と立体交差 自動車専用道と立体交差2箇所 幹線街路曾根苅田線と立体交差 幹線街路と平面交差20箇所		
なお、小倉北区浅野一丁目地内に約7,800㎡の駅前広場（地表式、嵩上式）を設ける。											

幹線街路	3・2・12	黒原飛行場線	小倉北区霧ヶ丘一丁目	小倉南区中曽根東五丁目	小倉南区葛原	約6,590m	地表式	4車線	30m	自動車専用道路と立体交差1箇所 幹線街路5号線と立体交差 幹線街路と平面交差7箇所
	3・3・22	吉志2号線	門司区大字吉志	門司区吉志一丁目	門司区吉志新町	約1,170m	地表式	4車線	25m	幹線街路と平面交差3箇所
	3・3・23	沼吉田線	小倉南区沼本町一丁目	小倉南区大字吉田	小倉南区中吉田二丁目	約2,010m	地表式	4車線	25m	幹線街路と平面交差3箇所
	3・3・49	新町井ノ浦線	門司区西新町二丁目	門司区大字恒見	門司区吉志	約8,760m	地表式	4車線	22m	JR西日本山陽新幹線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路5号線と立体交差 幹線街路と平面交差3箇所
なお、門司区西新町二丁目及び同区西新町一丁目地内に延長約190m、幅員19mの枝線を設ける。										

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

別紙のとおり

都市計画の案の理由書(北九州市決定)

北九州都市計画道路を変更する理由

北九州市は昭和38年に旧五市が合併して誕生し、昭和40年に「北九州市長期総合計画」を策定しました。

この計画では、小倉東部内陸部及び曾根臨海地区を大規模な工業団地として開発されることとされ、その開発を支援するため、昭和42年に都市計画道路6号線などの幹線道路が計画されました。

○3・1・4号 6号線

当該路線は、北九州市門司区東本町一丁目を起点とし、同市小倉南区大字朽網を終点とする延長約21,150m、幅員40m、4車線の都市計画道路で、門司区から小倉南区にかけての周防灘沿岸部の物流機能の強化、産業支援を図るために計画された路線です。

現在、周防灘沿岸部では、太刀浦コンテナターミナル、新門司港、北九州空港、北九州臨空産業団地などの産業物流拠点が集積しています。そこから発生する交通を処理する幹線道路である都市計画道路5号線、国道10号は朝夕の渋滞が激しく、物流機能が阻害されている状況です。

これらの渋滞を解消して、周防灘沿岸部の物流機能の強化を図ることや、京築地域との連携強化、北九州空港へのアクセス利便性向上を図るには、本路線の整備が必要です。

本路線の未整備区間である新門司から朽網では、曾根干潟への影響や山間地通過による多額の事業費、住宅地の分断等の課題があります。これらの課題に対応するため、現計画ルートの一部である未整備区間を廃止し、住宅地の回避、平地部通過による事業費の削減、曾根干潟への影響軽減を図るルートに変更します。

また、本都市計画による3・1・4号 6号線事業が周辺環境に与える影響については、3・1・4号 6号線事業環境影響準備書に示す通り、都市計画を定める上で支障がないと判断します。

○3・1・5号 8号線

当該路線は、北九州市小倉北区浅野一丁目を起点とし、同市小倉南区大字朽網を終点とする延長約14,020m、幅員40mの都市計画道路で、小倉北区から小倉南区への幹線交通を処理するために計画された路線です。

市決定として同時に変更を行う予定である3・1・4号6号線の変更に伴い、本路線の終点を変更します。

さらに、平成10年の都市計画法の政令及び省令の改正において、都市計画に定める事項として「車線の数」が追加されたことに伴い、車線数の明示を行います。

○3・2・12号 黒原飛行場線

当該路線は、北九州市小倉北区霧ヶ丘一丁目を起点とし、同市小倉南区大字曾根を終点とする延長約6,810m、幅員30mの都市計画道路で、小倉北区から小倉南区への物流機能の強化を図るために計画された路線です。

市決定として同時に変更を行う予定である3・1・4号6号線の変更に伴い、本路線の終点を変更します。

さらに、平成10年の都市計画法の政令及び省令の改正において、都市計画に定める事項として「車線の数」が追加されたことに伴い、車線数の明示を行います。

○3・3・22号 吉志2号線(旧吉志井ノ浦線)

当該路線は、北九州市門司区大字吉志を起点とし、同市門司区大字恒見を終点とする延長約4,670m、幅員25mの都市計画道路で、恒見地域の経済の成長と産業の発展に対応するために計画された路線です。

市決定として同時に変更を行う予定である3・1・4号6号線の変更に伴い、6号線と重複する本路線の一部を廃止します。

同時に、一部廃止に伴い、終点に関する地名を変更し、さらに、平成10年の都市計画法の政令及び省令の改正において、都市計画に定める事項として「車線の数」が追加されたことに伴い、車線数の明示を行います。

○3・3・23号 沼吉田線(旧沼井ノ浦線)

当該路線は、北九州市小倉南区沼本町一丁目を起点とし、同市門司区大字恒見を終点とする延長約4,390m、幅員25mの都市計画道路で、恒見地域の経済の成長と産業の発展に対応するために計画された路線です。

市決定として同時に変更を行う予定である3・1・4号6号線の変更に伴い、6号線と重複する本路線の一部を廃止します。

同時に、一部廃止に伴い、終点に関する地名を変更し、さらに、平成10年の都市計画法の政令及び省令の改正において、都市計画に定める事項として「車線の数」が追加されたことに伴い、車線数の明示を行います。

○3・3・49号 新町井ノ浦線

当該路線は、北九州市門司区西新町二丁目を起点とし、同市門司区大字恒見を終点とする延長約8,710m、幅員22mの都市計画道路で、門司区北西部から周防灘沿岸部への物流機能の強化を図るために計画された路線です。

市決定として同時に変更を行う予定である3・1・4号6号線の変更に伴い、本路線の終点を変更します。

さらに、平成10年の都市計画法の政令及び省令の改正において、都市計画に定める事項として「車線の数」が追加されたことに伴い、車線数の明示を行います。

新旧対照表（北九州市決定）

（ ）は旧

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・1・4	6号線	門司区東本町一丁目	小倉南区大字朽網	門司区吉志一丁目 〔門司区恒見〕	約23,310m (約21,150m)		4車線	25m (40m)		
	構造形式の内訳		門司区大字田野浦	門司区大字白野江		約530m	地下式		16m		
			門司区大字大積	門司区大字喜多久		約480m	地下式		22m		
			門司区大字柄杓田	門司区大字伊川		約680m	地下式		22m		
			小倉南区大字吉田	小倉南区大字曾根		約520m (一)	嵩上式 (一)		23m (一)		
					約21,100m (約19,460m)	地表式		16m~46m		J R 西日本山陽新幹線と立体交差 自動車専用道と立体交差3箇所 幹線街路と平面交差16箇所 〔幹線街路と平面交差〕14箇所 — 〔幹線街路吉志井ノ浦線と立体交差〕 — 〔幹線街路新町井ノ浦線と立体交差〕	

新旧対照表（北九州市決定）

（ ）は旧

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・1・5	8号線	小倉北区 浅野一丁目	小倉南区 大字朽網	小倉北区 片野 三丁目	約13,930m (約14,020m)		6車線 (一)	40m		
	車線の数の内訳		4車線			約 3,910m (一)	/				
			6車線			約 10,020m (一)					
	構造形式の内訳		小倉北区片 野五丁目	小倉南区富 士見二丁目	小倉南区富 士見三丁目	約 670m	堀割式		35m		
					約 13,260m (約 13,350m)	地表式		40m	JR九州日豊本線 と立体交差2箇所 JR九州日田彦線 と立体交差 自動車専用道と立 体交差2箇所 幹線街路曾根苅田 線と立体交差 幹線街路と平面 交差20箇所		
なお、小倉北区浅野一丁目地内に約7,800㎡の駅前広場（地表式、嵩上式）を設ける。											

新旧対照表（北九州市決定）

（ ）は旧

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主な経過地	延 長	構造形式	車線の数	幅 員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・2・12	黒原飛行場線	小倉北区 霧ヶ丘 一丁目	小倉南区 中曾根東 五丁目 〔小倉南区 大字曾根〕	小倉南区 葛原	約6,590m (約6,810m)	地表式	4車線 (一)	30m	自動車専用道路と 立体交差1箇所 幹線街路5号線と 立体交差 幹線街路と平面 交差7箇所	

新旧対照表（北九州市決定）

（ ）は旧

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・3・22	吉志2号線 (吉志井ノ浦線)	門司区 大字吉志	門司区 吉志一丁目 〔門司区 大字恒見〕	門司区 吉志新町 〔門司区 恒見〕	約1,170m (約4,670m)	地表式	4車線 (-)	25m	- 〔幹線街路6号線と 立体交差 幹線街路と平面交 差3箇所〕	

新旧対照表（北九州市決定）

（ ）は旧

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・3・23	沼吉田線 (沼井ノ浦線)	小倉南区 沼本町 一丁目	小倉南区 大字吉田 〔門司区 大字恒見〕	小倉南区 中吉田 二丁目 〔小倉南区 吉田〕	約2,010m (約4,390m)	地表式	4車線 (一)	25m	幹線街路と平面交差3箇所 〔幹線街路と平面交差5箇所〕	

新旧対照表（北九州市決定）

（ ）は旧

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・3・49	新町井ノ浦線	門司区西新町二丁目	門司区大字恒見	門司区吉志	約8,760m (約8,710m)	地表式	4車線 (一)	22m	JR西日本山陽新幹線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路5号線と立体交差 [—] — (幹線街路6号線と立体交差) 幹線街路と平面交差3箇所 (幹線街路と平面交差5箇所)	
なお、門司区西新町二丁目及び同区西新町一丁目地内に延長約190m、幅員19mの枝線を設ける。											